

●国際バイオビジネス学科

1. 教育研究上の目的

本学科は、人類の生存に最も重要な食料・環境にかかわるビジネスの教育・研究を行う。食料の生産、加工、流通、支援サービス、さらには生態系を踏まえた地域環境・資源の分野において持続的な経営発展を推進するバイオビジネスの専門的知識と技術を身につけた国際的人材を養成する。

2. 教育目標

国際バイオビジネス学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 国内外の食料の生産、加工、流通、支援サービスに関するビジネスの専門家に成りうる者。
- (2) 地域環境・地域資源の分野において持続的な経営発展を推進する専門家に成り得る者。
- (3) 国内外の食料の生産、加工、流通、支援サービスに関する情報処理技術の専門家に成り得る者。

3. アドミッションポリシー

国際バイオビジネス学科では、食料の生産・加工・流通等にかかわる企業の経営やマーケティング、情報処理技術、自然環境の評価や保全、地域資源の持続的活用などの知識を身に付けた食料・環境ビジネスの専門家を目指し、国内外で広く活躍したいと考える人材を求めている。

- (1) 食料の生産・加工・流通等にかかわる企業の経営やマーケティングの知識を身に付けた食料ビジネスの専門家を目指す人。
- (2) 食料の生産・加工・流通等にかかわる情報処理技術を身に付けた食料ビジネスの専門家を目指す人。
- (3) 自然環境の評価や保全、などの環境ビジネスの専門家を目指す人。
- (4) 地域資源の持続的活用などの知識を身に付けた食料・環境ビジネスの専門家を目指す人。

4. カリキュラムポリシー

国際バイオビジネス学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 食料の生産・加工・流通に係わる経営・マーケティングの専門知識と基本技術を修得させる科目。
- (2) 情報処理システムの設計・開発に係わる基礎知識・基本技術を修得させる科目。

- (3) ビジネスを取り巻く自然・社会環境の評価・保全、地域資源の持続的活用に係わる基礎知識・基本技術を修得させる科目。
- (4) 異文化理解及び国際的視野の形成を図るため、実践的な語学力を修得させる科目。

5. ディプロマポリシー

国際バイオビジネス学科は、所定の単位を取得し、以下の要件についての能力が身に付いている学生に対し、学位を授与する。

- (1) 本学科に所定の期間在学し、全学及び学部共通科目等の教養教育による基礎的知識と本学科の教育理念（国際的に活躍できるビジネスパーソンの育成）のもとに編成された講義科目、演習科目、及び実習科目を含めた専門教育による専門的知識を身に付けている。
- (2) 卒業論文の作成を通して、知識の活用力、論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現力、コミュニケーション力などの能力を身に付けている。
- (3) 本学科における教育研究活動を通じて獲得した能力を実社会に還元し、その発展に寄与する能力を身に付けている。
- (4) グローバルに活躍するために必要な国際性を身に付けている。